

- 進行・再発癌
 術後補助化学療法
 術前補助化学療法
 大量化学療法
 局所療法
 その他()

投与順	抗癌剤名(商品名・略号)	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日(d1, d8等)
1	ドセタキセル (ドセタキセル・DTX)	60mg/m ²	div	60分	d1
2	カルボプラチン (カルボプラチン・CBDCA)	AUC5	div	60分	d1
3					

1コース期間 (次コースまでの標準期間)	3週間
総コース数	4-6コース
コース間での休薬の規定	WBC<2000、好中球数<1000、血小板数<75000

減量規定・中止基準	血液学的、非血液学的毒性Grade3あれば減量考慮
投与量の増量規定	なし
投与期間の短縮規定	なし
コースによる変化	なし
1日の中での抗癌剤投与順	ドセタキセル→カルボプラチン
プレメディケーション・ポストメディケーション	day1 デキサート3.3mg+グラニセトロン注1mg+アプレピタント125mg day2-3 アプレピタント80mg、デカドロン4mg

CTCAE v5.0

患者条件

- ・20歳以上
- ・白血球 \geq 2000、血小板 \geq 10万/mm³、ヘモグロビン \geq 9.0g/dl、AST、ALTが施設基準の2倍以内、ビリルビン施設基準の1.5倍以内
- ・PS 0~2
- ・主要臓器機能が十分保たれている患者
- ・進行例、再発例、術後
- ・術後補助化学療法では基本的にAP療法だが、心臓機能の低下者かつ末梢神経の痺れがある人に使用

除外規定

- ・重篤な腎障害のある患者
- ・重篤な骨髄抑制のある患者
- ・重症感染症を合併している患者
- ・妊婦又は妊娠している可能性のある婦人
- ・本剤又はポリソルベート80含有製剤や他の白金製剤に対し重篤な過敏症の既往歴がある患者

実施上の注意点

- ・血液毒性の程度によってはG-CSF製剤を使用する

その他(特記事項)

- ・10コースまで延長可能